

ACC023-01

会場:展示ホール7別室3

時間: 5月27日09:04-09:19

## 光学リモートセンシングに基づく広域積雪分布の推定

### Estimation of snow distribution over a large area using optical remote sensing

朝岡 良浩<sup>1\*</sup>

Yoshihiro ASAOKA<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>朝岡 良浩, <sup>2</sup>風間 聡

<sup>1</sup>ASAOKA Yoshihiro, <sup>2</sup>KAZAMA So

本研究では、光学リモートセンシングを用いた日本における積雪域抽出法、積雪・融雪モデルによる積雪分布推定の事例について概説する。光学リモートセンシングによる積雪域抽出法については、第一にNOAA/AVHRRの可視、近赤外、中間赤外、熱赤外の多波長解析による抽出法（風間ら、1992）について述べる。第二に積雪指標S3（斎藤・山崎、1999）をSPOT/VEGETATIONに適用した例について述べる。次に、積雪域画像と積雪・融雪モデルを組み合わせた広域積雪分布推定法について述べる。第一の手法は作成された積雪面情報と一致するように融雪モデルのパラメータ（融雪係数）を同定する方法である。第二の手法は積雪域画像から検索された消雪日から融雪量を逆算することにより降雪量を推定する手法である。このようなリモートセンシング情報と積雪・融雪モデルを組み合わせた手法は、モデルの広域展開や衛星画像の取得日までの情報を補完することが可能となり、相互の欠点を補うことができる。

キーワード:積雪分布,光学リモートセンシング,積雪面情報,積雪モデル,融雪モデル

Keywords: Snow distribution, Optical remote sensing, Snow cover map, Snow model, Snowmelt model